国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和　元年　６月２４日
青森河川国道事務所

小学生と一緒に水生生物調査を実施します！

～採集した水生生物の種類から河川の水質を判定します～

国土交通省では、河川に生息する水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。
青森河川国道事務所では、岩木川において弘前市立大成小学校の児童と共に下記の日程で実施します。

◆場　　所
岩木川（弘前市大字和田町地先　弘前水辺プラザ河川敷）・・・・・別図参照

◆参加校及び日時
弘前市立大成小学校（4学年　48名）　　令和元年6月27日（木）9：15～11：15
※なお、天候不良や河川の水位の状況により、中止する場合があります。
予備日なし。※雨天時は弘前地区防災ステーション内

☆全国水生生物調査とは
河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定する事ができます。
このような調査は、一般の方にもわかりやすく、高価な機材等を要しない事から誰でも簡単に参加できるという利点があります。
また、調査を通じて身近な自然に接する事により、環境問題への関心を高める良い機会となるため、国土交通省では昭和５９年度から全国水生生物調査を行っています。

☆調査方法
本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、２９種を指標生物としています。・・・・・別添資料参照
河川で水生生物を採集し、指標生物の固定・分類を行い、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の４階級で水質の状況を判定します。

※発表記者会　：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

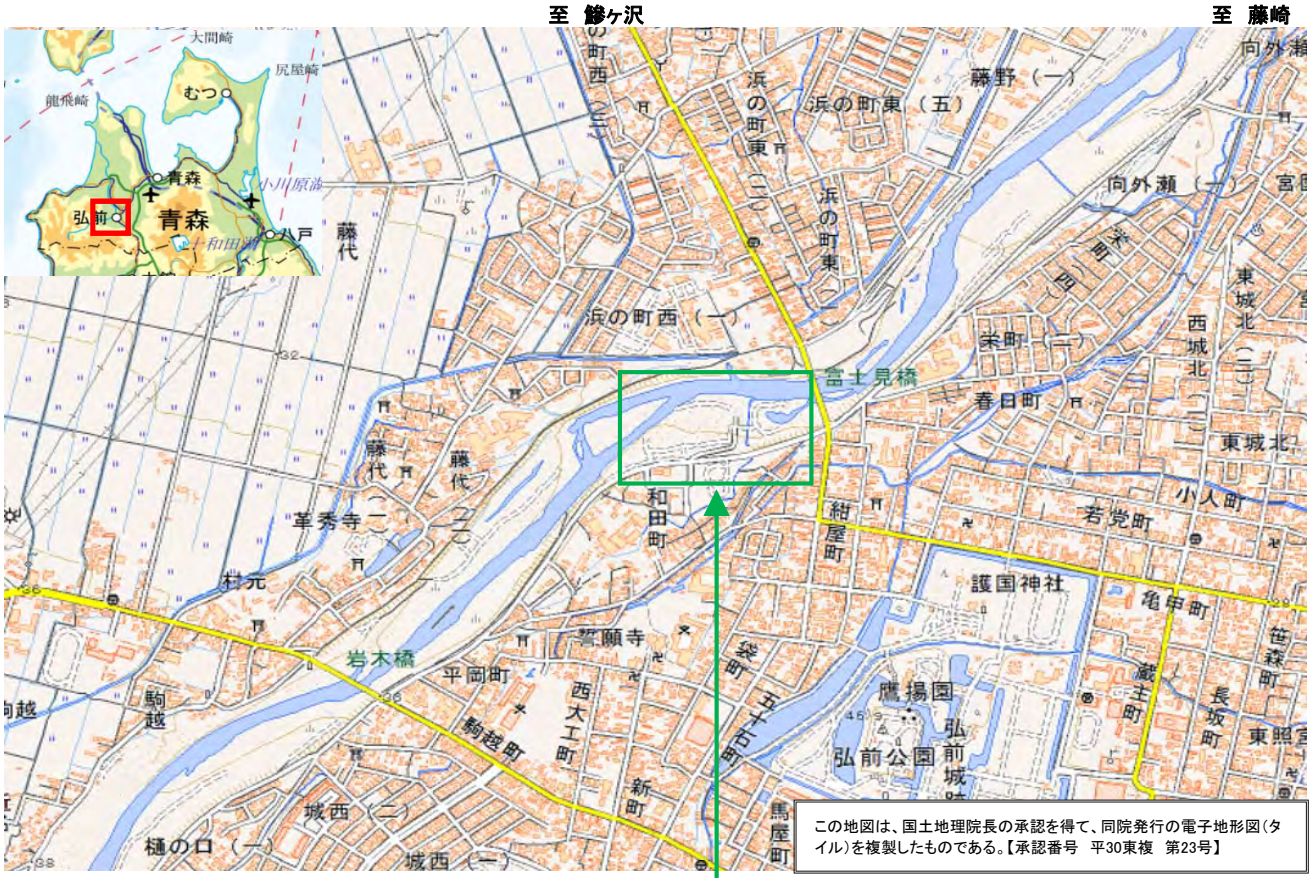
問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　（ＴＥＬ０１７－７３４－４５３７（直通））
河川占用調整課長　　山田　聡

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所　藤崎出張所
南津軽郡藤崎町大字藤崎字村井３６－１　（ＴＥＬ０１７２－７５－３３１４）
藤崎出張所長　　中野　博英

岩木川水生生物調査　実施箇所　位置図

青森県弘前市大字和田町地先





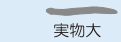
※弘前水辺プラザ（河川敷）の駐車場をご利用いただけます。
※雨天時は、弘前地区防災ステーション内で行います。

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

Ⅰ きれいな水

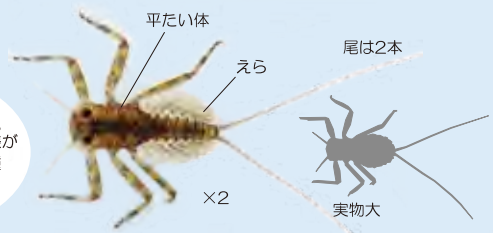






ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



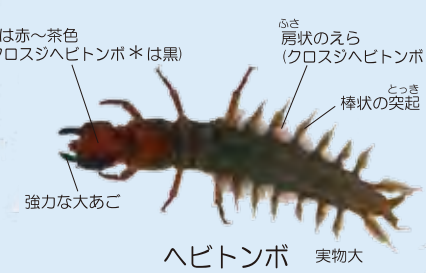
カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



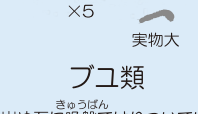
サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがいるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう





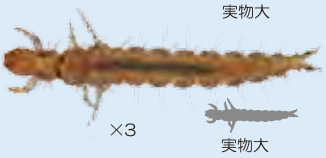
ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある

アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている





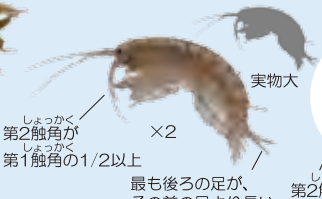
ナガレトビケラ類

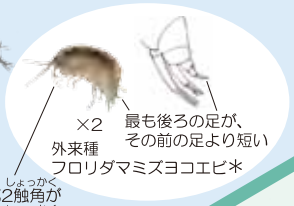
流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い





ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

Ⅰ，Ⅱ両方でみられる水生生物
（指標種ではない）

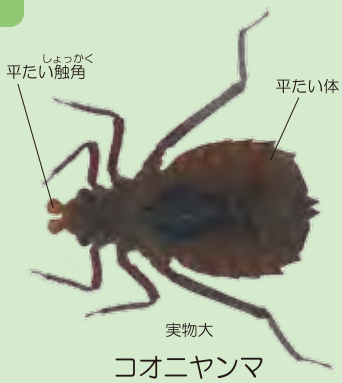
Ⅱ ややきれいな水





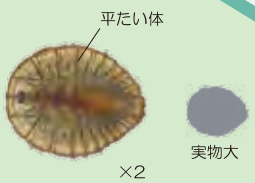
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボ＊は数mmと小型



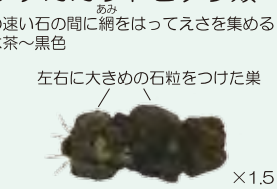
コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



コガタシマトビケラ類

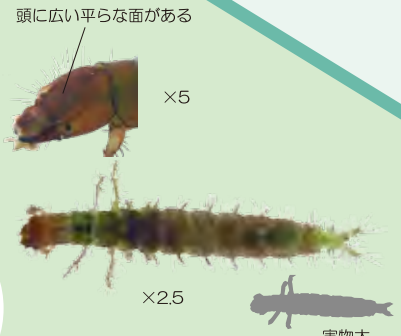
頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



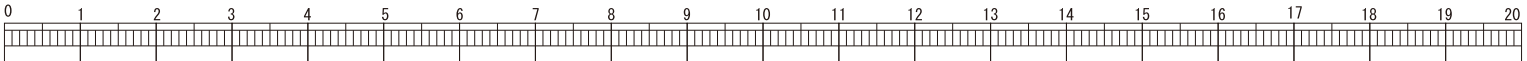


オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年度版



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



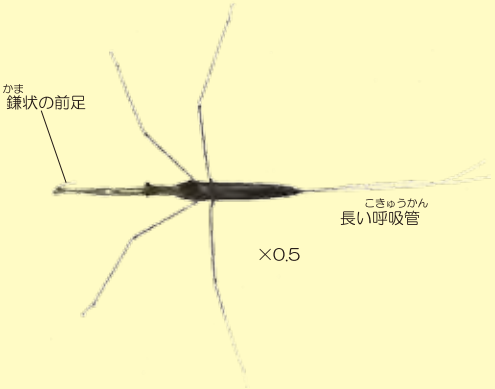
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイイロユスリカが多い



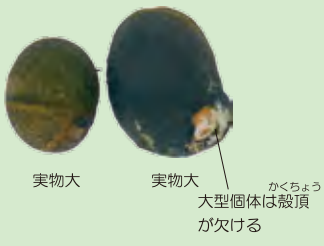
チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある

汽水域（海水が混じっているところ）

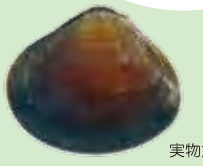
Ⅱ ややきれいな水





イシマキガイ

石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマシジミ＊や外来種のタイワンシジミ＊がいる

Ⅲ きたない水



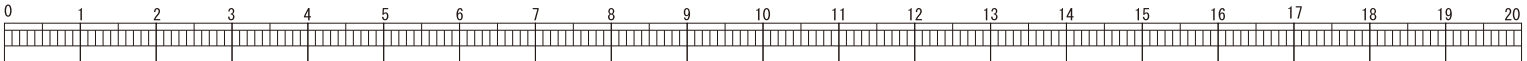
イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。



昨年度の実施状況写真（平成30年7月11日）

※降雨により水位上昇につき、河道内での水生生物調査は中止し、弘前地区防災ステーション内で実施。

















ー昨年の実施状況写真（平成29年7月11日）













7/7は
川の日です



国土交通大臣賞：前田　知輝さん
（吉野川市立西麻植小学校）



事務次官賞：加藤　優衣さん
（大崎市立松山小学校）



事務次官賞：赤坂　知紗さん
（美里町立不動堂小学校）



事務次官賞：黒川　小春さん
（菊川市立西中学校）

せせらぎに　ぼくも魚も　すきとおる

河川愛護月間

7月1日～7月31日



事務次官賞：真鍋　光稀さん
（三豊市立高瀬中学校）



事務次官賞：向井　喜八さん
（鳥取県）



事務次官賞：田中　凛花さん
（佐伯市立昭和中学校）

“絵手紙”募集中!!

詳しくは
http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html

令和元年9月27日(金)必着

今すぐアクセス

◆標語（平成22年募集）は国土交通大臣賞　松永 卓眞さん（熊本県八代市立太田郷小学校）の作品
◆絵手紙（平成30年募集）は国土交通大臣賞他を受賞された方々の作品

●主催：国土交通省／都道府県／市町村
●後援：内閣府／NHK／一般社団法人日本新聞協会／一般社団法人日本民間放送連盟
●協賛：公益社団法人日本河川協会／公益財団法人リバーフロント研究所／
公益財団法人河川財団／全国治水期成同盟会連合会／全国水防管理団体連合会／
一般社団法人建設広報協会／一般財団法人河川情報センター／
一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団／全国建設弘済協議会／
一般社団法人全国海岸協会

7月1日～7日は河川水難事故防止週間
〈川の防災情報〉http://www.river.go.jp
〈気象庁天気予報〉「市外局番」＋「177」

1911334_平成30年度河川愛護月間チラシ.indd　1　2019/05/15　14:52:03

「河川愛護月間」“絵手紙”を募集します。

『河川愛護月間』“絵手紙”募集要領

1. 目的

「河川愛護月間（7月1日～7月31日）」における広報活動の一環として、平成18年度より同月間推進事業として絵手紙作品を募集してきました。令和元年度も、昨年度に引き続き、絵手紙を未就学児から一般の方まで広く募集し、河川愛護意識の高揚を図ることとします。

2. 応募規定

①募集内容

・テーマ

「川遊び～川での思い出・川への思い～」

・募集作品

川遊びで川に潜ったり、川の生き物を観察したなど、川での体験や川と触れ合い感じた「川での思い出や川への思い」を文章にし、絵と組み合わせて描いた「絵手紙」を募集します。

デザイン、彩色、画材は自由です。（写真は応募できません。）

②応募資格

河川愛護月間の趣旨に賛同して頂ける方。年齢、性別、職業などの制限はありません。（応募できる作品は一人一作品です。）

③応募作品のサイズ

郵便はがきサイズ（100mm×148mm）

④応募方法

応募作品の裏面に必ず氏名、住所、電話番号のほか、小学生・中学生・高校生は学校名と学年を明記の上、下記送付先へ応募してください。

（氏名、住所及び学校名にはふりがなを付けてください。）

※ご記入頂いた個人情報は、応募作品の審査に関する確認、審査結果連絡の目的以外には使用致しません。

⑤応募上の注意

・応募作品の使用・著作権は、国土交通省に帰属します。
・応募作品は、未発表のオリジナル作品に限ります。
・応募作品は、返却致しません。

⑥締め切り

令和元年9月27日（金）まで（当日必着）

3. 審査方法

水環境の専門家、マスコミ関係者、美術の専門家等で構成する審査会において審査を行い、入賞作品を決定致します。

4. 入選の発表

審査終了後に、入賞者に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ、機関誌等にも掲載します。

5. 作品使用

優秀作品は、来年度の「河川愛護月間」ポスター、チラシ等に使用するほか、「河川愛護月間」の推進に幅広く活用します。

6. 賞

最優秀賞（国土交通大臣賞）	1点
優秀賞　（国土交通事務次官賞）	6点
優良賞　（国土交通省水管理・国土保全局長賞）	8点
審査員特別賞	5点

7. 表彰

国土交通省から賞状を、協賛団体から副賞を贈呈します。

協賛：
公益社団法人日本河川協会／一般社団法人建設広報協会
一般財団法人河川情報センター

≫送付先・問い合わせ先等

送　付　先　〒100−8918　東京都千代田区霞が関２－１－３
国土交通省水管理・国土保全局治水課内　「河川愛護月間」絵手紙募集係

問合せ先等　国土交通省水管理・国土保全局治水課管理係　03−5253−8111（内線 35663）
HPアドレス　http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html

1911334_平成30年度河川愛護月間チラシ.indd　2　2019/05/15　14:52:03